

子供たちへ確かな贈り物を

総合建設コンサルタント



— Forecast the Future —

開発虎ノ門コンサルタント株式会社



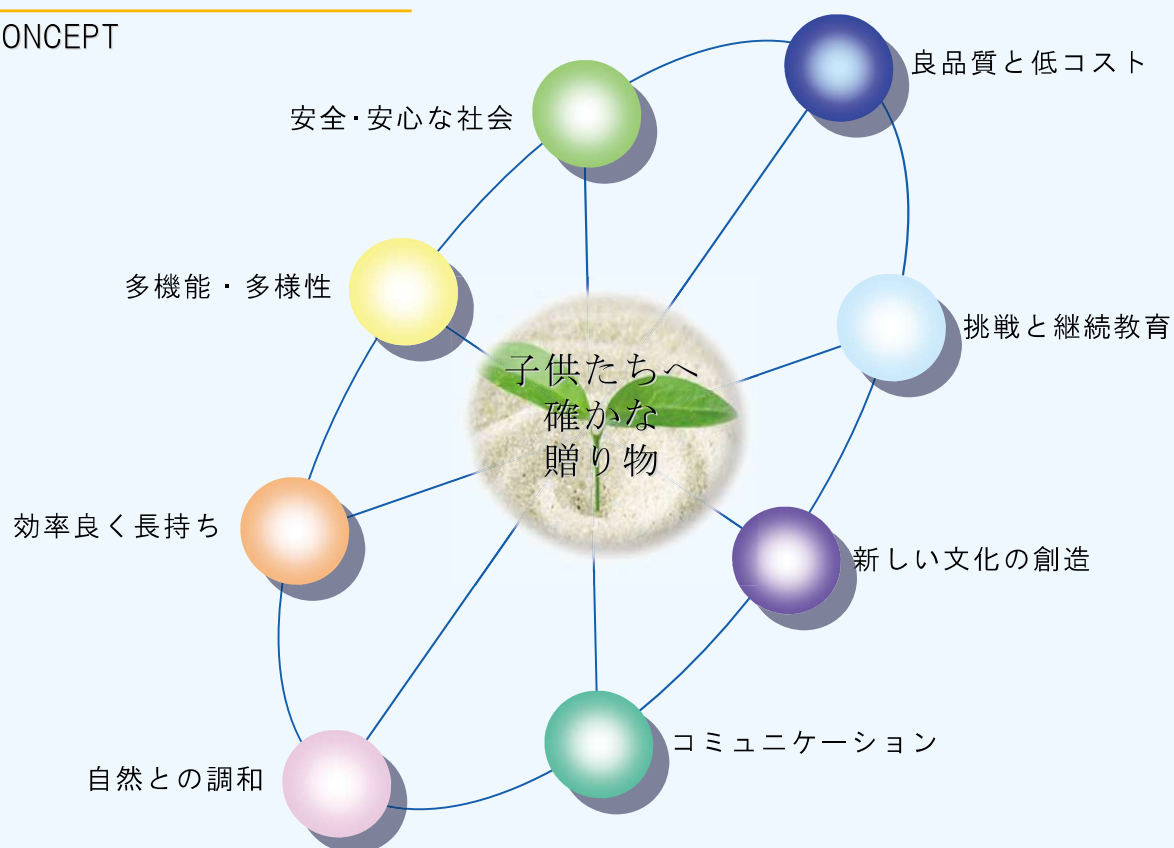


私達、建設コンサルタントは、
建設に関する企画、立案、調査、
計画、設計、施工管理等の技術サ
ービスを提供する技術者集団と
して活動を行っています。

地球のこと、自然との共存を ■

潤いある利用しやすい空間を ■

OUR CONCEPT





■ まだ見ぬ未来の子供たちへ確かな贈り物を

■ 私たちの会社は、こんな創造エンジニアリングの集まりです。

ご挨拶

我が社は1963年に創業(前身は1953年設立 社団法人日本開発技術協会)し、2007年に開発虎ノ門コンサルタント株式会社と改名を経て、現在に至っております。株式会社として半世紀以上の長きにわたり、建設コンサルタントとして『社会貢献』の実現に向けて、実績と歴史を積み重ねてまいりました。

現在、我が国の建設環境は、度重なる自然災害への対策として、防災・減災対策事業や国土強靱化などの公共事業の重要性が一段と高まっています。また、高度成長に整備してきた社会基盤が経年劣化や機能低下を起こしており、既存ストックの維持管理や長寿命化の必要性が求められています。

これらの社会背景から、我が社ではこれまで防災・減災事業への積極的な参入と災害復旧に対して迅速かつ精力的に取り組む社会貢献を果たしております。また、既存の社会資本ストックの有効利用を目的に、新技術を含めたマネジメントシステム等を開発し提供してまいりました。今後もこれらを継続的に発展させ、より効果的な維持管理システムの構築や調査技術の開発に取り組んでまいります。

我が社は『お客様第一』の基本理念のもと、社会ニーズを的確に把握し、安心で安全な国土づくりを目標として、『子供たちへの確かな贈り物』として未来に向けて喜ばれる社会資本整備全般により一層貢献できる会社を目指します。

2026年7月1日

代表取締役 執行役員社長 白鳥 愛介



語り継がれる橋

橋には人の生活と都市の機能を支えるという役割の他に、地域の景観を形成し、文化を伝えるなど様々な役割があります。私達はこれまでの豊富な経験を活かし優れた技術と、斬新な提案で応えます。

●青森ベイブリッジの設計<青森県>



●サンマリンブリッジの設計<浜名湖競艇企業団>



●八戸シーガルブリッジの設計<青森県>



●諏訪峡大橋の設計<水上町>



●巴流大橋（ばるおおはし）の設計<静岡県>



●浜田マリン大橋の設計<(財)漁港漁村建設技術研究所>



技術の集約

免震・耐震性能の向上、快適な走行性、維持管理コストの低減を可能とする機能性に優れた橋の実現に向けて、私達は優れた技術と先進的な提案で応えます。

●常陸那珂有料道路 常陸那珂港 IC の設計<茨城県道路公社>【複合構造】



●宮川橋の設計<静岡県>

【我が国初の免震橋】



●東海北陸自動車道 椿原橋の設計<NEXCO>

【PC 床版鋼トラス合成構造】



●伊豆縦貫自動車道 大仁高架橋の設計<静岡県>

【29 径間連続免震構造】





周りとの調和

地域の自然、歴史・文化、生活や利用空間などとの調和を図り、構造物により地域の魅力と個性あふれる空間の演出に向け、私達は優れた技術と提案で応えます。

●新合ノ瀬橋の設計<群馬県>



●葛城橋の設計<栃木県>



●千倉橋の設計<千葉県>



●旭橋の設計<千葉県>



●新常安橋 2 号橋の設計<滋賀県>



●内川橋の設計<国土交通省>





親しみのある歩道

歩道には、道路歩道や遊歩道、緑道、自然歩道ごとに多様な役割と機能があります。私達は成熟社会に向けて人と自然に優しい歩道空間を創造するため、優れた技術と多面的な提案で応えます。

●はなはな橋の設計<千葉県>



●加藤洲十二橋の設計<香取市>



●南日当橋の設計<千葉県>



●おっかな橋の設計<水上町>



●あいの橋の設計<埼玉県>



●虹の橋の設計<江差町>



道路ネットワークを築く

道路ネットワークは人と物の移動・交流を促進して、我が国の国際競争力と地域経済の発展のため欠かすことができません。私たちは道路ネットワークの整備に向け優れた技術と提案で応えます。

●常磐自動車道 岩間 IC の設計<NEXCO>



●東北自動車道 宇都宮 IC の設計<栃木県>



●新東名高速道路 森掛川 IC の設計<NEXCO>



●新東名高速道路 藤枝岡部 IC～島田金谷 IC の設計<NEXCO>



●主要地方道 飯能寄居線の設計<埼玉県>



●一般国道7号 秋田南バイパスの設計<東北地方整備局>





利用しやすいスムーズな交通を築く

すべての人が豊かさを実感できるように利用しやすいスムーズな交通を目指して、成熟社会にふさわしい道路環境を構築するため、私達は優れた技術と提案で応えます。

●首都高速道路 湾岸線 空港南トンネルの設計<首都高速道路(株)>



●首都高速道路 湾岸線 空港北トンネルの設計<首都高速道路(株)>



●都市計画道路南平台日吉台線の設計<大阪府>



●一般国道 17 号 電線共同溝の設計<東京都>



●首都高速道路 大宮線 案内標識の計画<首都高速道路(株)>



●東関東自動車道他 料金所の ETC 整備計画・改良設計<NEXCO>



水と人とのふれあいを築く

人々の安全で安心な生活を守るため、私達は水と人とのふれあいを大切に考えて河川整備に取り組んでいます。水害の予防対策と減災対策に優れた技術と提案で応えます。

●浮間地区荒川防災ステーションの設計<国土交通省>



●小名木川護岸の設計<東京都>



●上郷排水樋管の設計<国土交通省>



●隅田川(吾妻橋上流)右岸防潮堤の設計<東京都>



●昭和水門の設計<国土交通省>



●大横川護岸の耐震補強設計<東京都>



水をコントロールする

東日本大震災を教訓に巨大地震による津波対策や、集中豪雨による治山対策、都市水害対策が急務です。私達は優れた技術と多面的な提案で応えます。

●尾白川砂防堰堤の設計<国土交通省>



●野門沢第5砂防堰堤の設計<国土交通省>



●女川漁港横浦地区の陸閘・水門設計<宮城県>



●雄勝港立浜地区の陸閘・水門設計<宮城県>



●港区芝浦下水道再構築の設計<東京都>



●烏山・目黒川幹線雨水吐施設整備の設計<東京都>





橋を末永く使うために

社会資産を有効活用し道路橋を健全な状態で次世代に引き継ぐために、私達は豊富な経験と点検・調査・解析・計画・設計の総合的な技術力を活かし、補修・保全技術サービスを提供します。

●橋梁点検車による橋梁点検<国土交通省他>



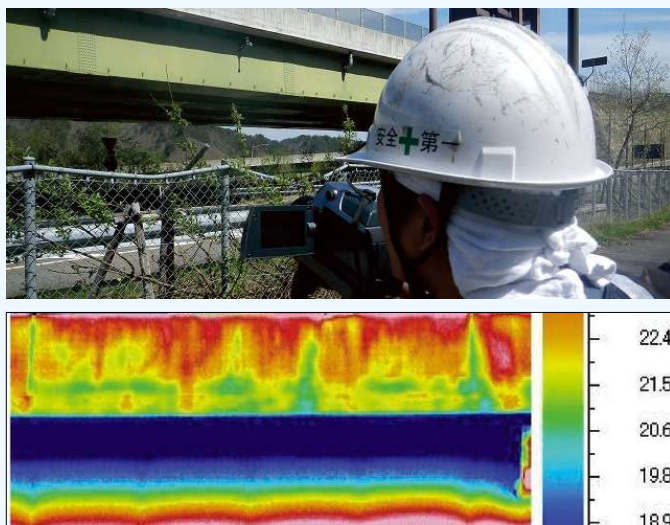
●高所作業車による橋梁点検<国土交通省他>



●ドローンによる橋梁点検<埼玉県他>



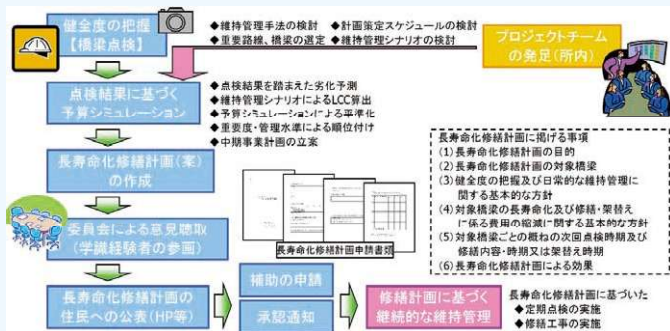
●赤外線サーモグラフィによる橋梁点検<国土交通省他>



●三次元レーザースキャナーによる橋梁点検<千葉県他>



●橋梁の修繕計画策定 (BMS) <千葉県他>



橋梁の事後保全的管理から予防保全的管理への転換のため、点検結果による損傷・劣化程度の傾向分析、管理シナリオの設定、ライフサイクルコストを算定して、橋梁の長寿命化修繕計画を策定します。



走りやすく安全な道路を維持するために

私達は道路のサービス水準を低コストで維持するため、舗装の健全度が調査できる IRI 測定車を開発しました。コストパフォーマンスに優れた調査から修繕計画まで質の高い技術サービスを提供します。

●路面性状調査(平坦性)〈国土交通省他〉



●路面性状調査(自社開発 IRI 測定車)〈千葉県他〉



●舗装構造評価業務(舗装コア採取)〈群馬県他〉



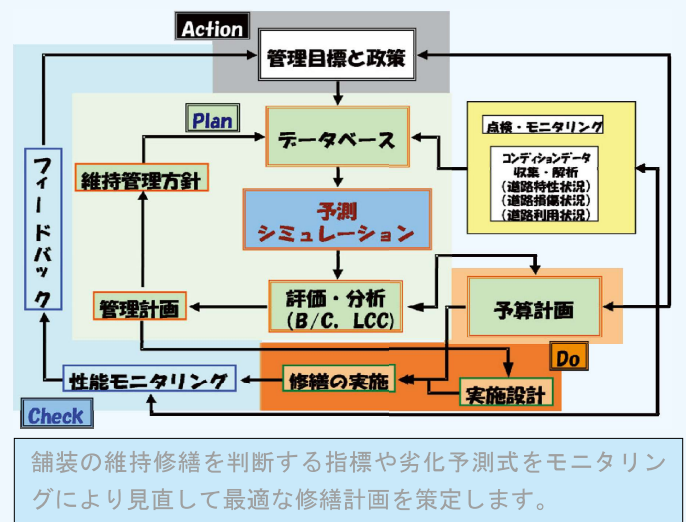
●路面下空洞調査(地中レーザ探査)〈兵庫県他〉



●路面性状調査(ひび割れ)〈国土交通省他〉



●道路舗装の修繕計画(PMS)〈千葉県他〉



地震に強い橋にする

地震による構造物の安全性を確保するため、私達は阪神淡路大震災や東日本大震災の経験と、先進的に取り組んできた耐震補強技術を結集した技術サービスを提供します。

●小原第二橋の耐震補強設計<NEXCO>



●伊芸高架橋の耐震補強設計<NEXCO>



●富士川水管橋の耐震補強設計<静岡県>



●狩野川大橋の耐震補強設計<静岡県>



●青森ベイブリッジの耐震補強設計<青森県>



●花崎陸橋の耐震補強設計<加須市>

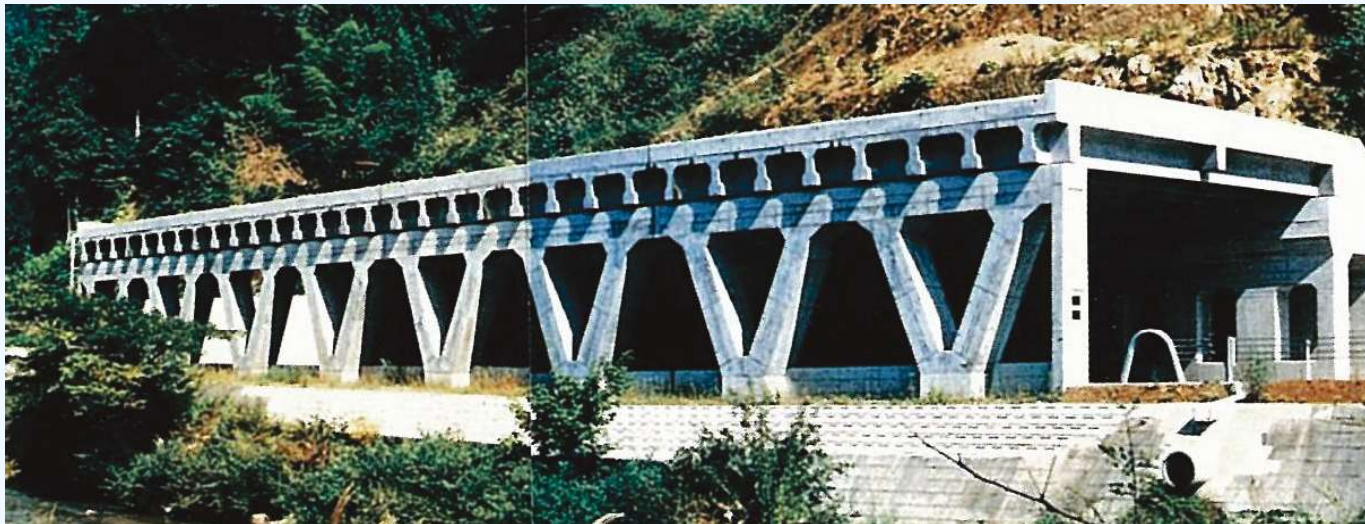




災害から道路を守る

道路災害を事前に予測し被害を極小化する予防対策や、災害時には迅速な現地調査・健全度評価を踏まえて応急・復旧に向けた技術サービスを提供します。

●一般国道 7 号 中津原洞門の設計<国土交通省>



●主要地方道 横芝下総線の法面補強設計<千葉県>



●主要地方道 市原天津線 斜面崩壊対策設計<千葉県>



●新潟県中越地震災害復旧設計<NEXCO>



●東北地方太平洋沖地震災害復旧設計<(株)ネクスコ 東日本エンジニアリング>





より良い環境・空間づくり

道路・河川・港湾・都市計画など各分野において、適切な環境配慮がなされるように、種々の調査・解析から景観整備とアセスメントまで幅広い技術サービスを提供します。

●道路交通騒音・振動測定・解析<国土交通省他>



●低周波音の測定・解析<静岡県他>



●三沢川親水護岸の設計<東京都>



●まつぶし緑の丘公園の設計<埼玉県>



●松原 JCT の道路休憩施設の設計<大阪府>



●志木駅前広場の設計<志木市>

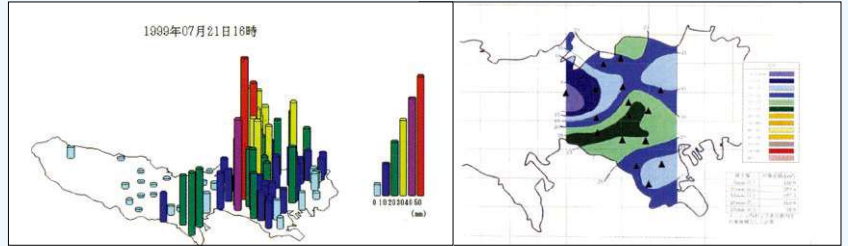


新しい社会基盤を創出するため、次世代の IT 技術を革新的な価値観で提供します。また、コミュニケーションビジネスにも柔軟に応えます。

●名古屋第二環状自動車道 清州 JCT CG 制作 <NEXCO>

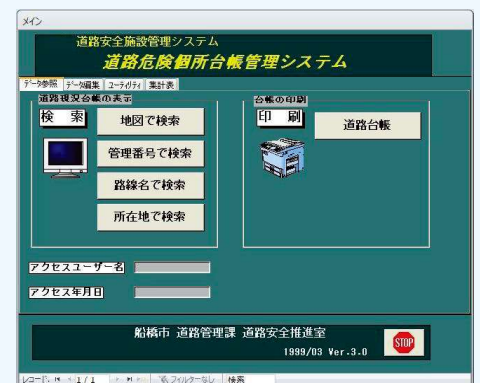
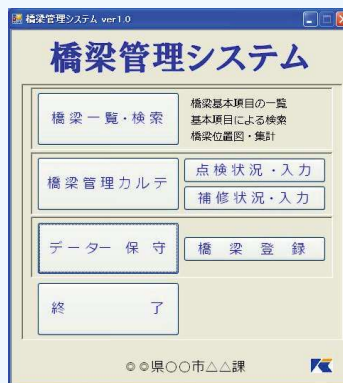


●雨量データ利用・検索システム開発<東京都他>

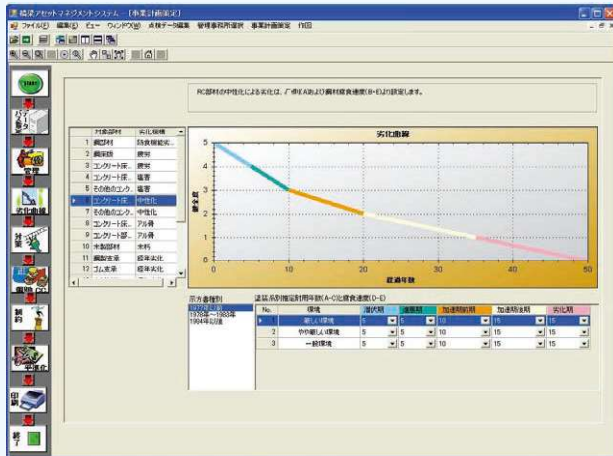


●橋梁管理システム開発<加須市他> ●道路安全施設管理システム開発<船橋市>

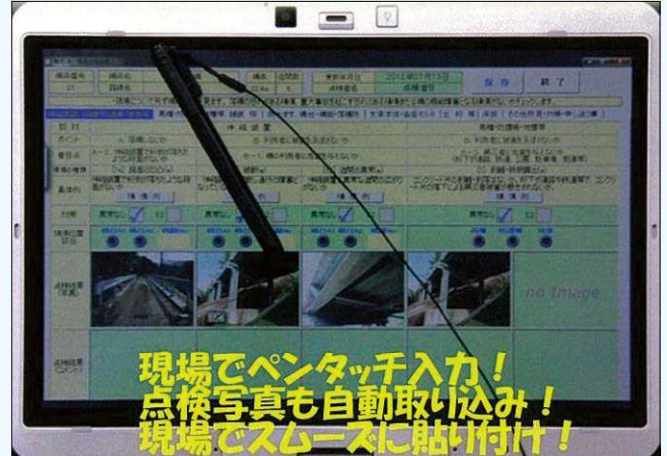
●巴流大橋(ばるおおはし) CG 制作 <静岡県>



●橋梁マネジメントシステム開発<美里町他>



●橋梁簡易点検現場入力システム開発<水上町他>



●舗装維持管理システム開発<西桂町他>



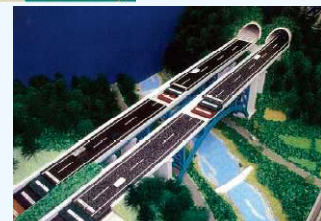
●パンフレット制作



●粗品制作



●模型製作





よきパートナー、アドバイザーとして

私達は社会基盤整備事業者の良きパートナー、良きアドバイザーでありたいと考えています。

●中部横断自動車道 平高架橋の施工管理<NEXCO>



●中部横断自動車道 森山トンネルの施工管理<NEXCO>



●中部横断自動車道 富士川第一橋 PC5径間連続波形鋼板ウェブ箱桁橋の施工管理<NEXCO>



●上信越自動車道 あらい高架橋の施工管理（アーチリブ配筋状況）<NEXCO>



●上信越自動車道 あらい高架橋の施工管理<NEXCO>



計画・設計照査から積算・協議、品質・工程・安全管理、施工確認、現場パトロール、工場施設・工場製作物・プラント検査まで豊富な経験と信頼のある技術で応えます。

●上信越自動車道 渋江川橋（P C 上部工）の施工管理<NEXCO>



●首都圏中央連絡自動車道 牛久高架橋 4 車線化の施工管理<NEXCO>



●高知自動車道 曾我部川橋の施工管理（施工確認状況）<NEXCO>



●高知自動車道 曾我部川橋の施工管理（品質管理状況<NEXCO>）



●高知自動車道 曾我部川橋の施工管理<NEXCO>



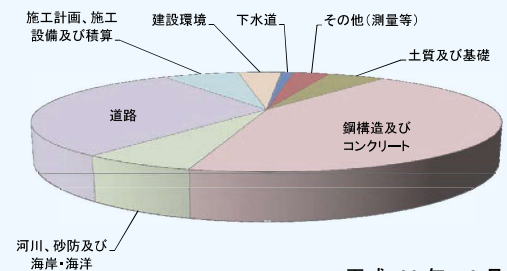
年 度	当社の出来事	
昭和 28 年 (1953 年)	・当社の前身である「社団法人日本開発技術協会（理事長 本間徳雄）」創設 ・東京都新宿区三栄町に協会事務所設置	【東名阪自動車道 亀山 IC】 
昭和 37 年 (1962 年)	・昭和 38 年 3 月に「日本開発技術コンサルタント株式会社」設立、資本金 5,000,000 円 ・初代本間徳雄社長就任、東京都新宿区坂町に本社設置 ・測量業登録「第 595 号」	
昭和 39 年 (1964 年)	・社名を「開発コンサルタント株式会社」に変更、2 代目伊藤令二社長就任 ・建設コンサルタント事業登録「第 77 号」 ・静岡県より東富士ダム設計業務を受注 ・日本道路公団から中央高速道路の道路設計業務を受注	
昭和 40 年 (1965 年)	・日本道路公団から東名高速道路の道路設計業務を受注 ・首都高速道路公団から首都高速道路橋上下部構造設計を受注 ・東京都台東区東上野の偕楽ビルに本社移転	
昭和 42 年 (1967 年)	・日本道路公団から東名高速道路の施工管理業務を受注 ・日本道路公団から休憩施設設計として初めて亀山インターチェンジの設計業務を受注	【一般国道 8 号子不知風波地区洞門】 
昭和 44 年 (1969 年)	・建設省から道路防災工設計業務を受注し始めロックシェッド技術を蓄積 ・首都高速道路公団の鋼構造橋梁設計業務を受注	
昭和 46 年 (1971 年)	・日本道路公団より城架道橋他一般基本及び詳細設計で感謝状を受ける	
昭和 47 年 (1972 年)	・資本金 10,000,000 円へ増資	
昭和 48 年 (1973 年)	・日本道路公団から交通量推計や交通量解析業務を受注 ・香川県から粟地ダムの設計業務を受注 ・社内労働組合結成	【粟地ダム】 
昭和 49 年 (1974 年)	・資本金 20,000,000 円へ増資	
昭和 51 年 (1976 年)	・3 代目小倉宏三社長就任	
昭和 52 年 (1977 年)	・地質調査業登録「第 303 号」	
昭和 54 年 (1979 年)	・東上野本社ビルに電算室を設置し電算システムを整備 ・都営地下鉄 10 号線の騒音振動予測業務の受注を機に環境部門の拡充 ・4 代目小倉宏三社長就任、5 代目伊東正信社長就任	【東上野本社ビル電算室】 
昭和 55 年 (1980 年)	・国鉄津田沼駅北口駅前広場の設計を受注し再開発事業に参入 ・大阪営業所開設 ・一般国道 156 号道路改築事業で初めて全建賞を受賞	【道路交通騒音振動測定】 
昭和 56 年 (1981 年)	・計量証明業登録：音圧レベル「東京都第 788 号」	
昭和 57 年 (1982 年)	・建設省と首都高速道路公団の施工管理業務に参入	
昭和 58 年 (1983 年)	・阪神高速道路公団から初めて橋梁設計を受注 ・大阪営業所移転 ・社史「二十年の歩み」刊行 ・建設省から昭和水門の設計業務を受注	【荒川昭和水門】 
昭和 59 年 (1984 年)	・資本金を 40,000,000 円へ増資 ・群馬県水上町から諏訪峡大橋の設計業務を受注 ・建設省から袋井バイパス三ヶ野高架橋の大口設計業務を受注	【袋井バイパス三ヶ野高架橋】 
昭和 60 年 (1985 年)	・6 代目植野豊社長就任 ・日本国有鉄道から青森ベイブリッジの設計業務を受注	
昭和 61 年 (1986 年)	・東京都から大規模下水道施設烏山・目黒川幹線雨水吐施設の設計業務を受注 ・建設省から金泉寺立体橋の大口設計業務を受注	
昭和 63 年 (1988 年)	・第 1 回構造設計課技術発表会開催（現技術フォーラム） ・青森県からシーガルブリッジの設計業務を受注 ・静岡県から我が国初の免震橋梁「宮川橋」の設計業務を受注し免震設計の基本を築く	
平成 1 年 (1989 年)	・日本道路公団より東名高速道路集中工事で感謝状を受ける	
平成 2 年 (1990 年)	・福岡支店開設 ・浜名湖競艇場からサンマリブリッジの設計業務を受注 ・首都高速道路公団から湾岸線の設計業務を受注	【青森ベイブリッジ】 
平成 3 年 (1991 年)	・静岡県から超多径間連続免震橋梁となる伊豆修善寺道路大仁高架橋の設計を受注 ・一級建築士事務所登録「第 33934 号」	
平成 4 年 (1992 年)	・漁港漁村建設技術研究所から浜田マリン大橋の設計を受注 ・日本道路公団より新東名高速道路藤枝岡部～島田金谷間の道路設計業務を受注 ・青森市より青森ベイブリッジの設計施工管理で感謝状を受ける ・青森ベイブリッジが土木学会田中賞工部門を受賞	
平成 5 年 (1993 年)	・建設省から千代田石岡バイパスの環境影響評価業務を受注 ・計量証明業：振動加速度レベル「東京都第 938 号」 ・海外事業に着手（マダガスカル共和国の道路建設事業）	
平成 6 年 (1994 年)	・水上町より諏訪峡大橋の設計施工管理で感謝状を受ける ・埼玉県よりふるとさ砂防事業工事で感謝状を受ける ・建設省から上郷排水樋管の設計業務を受注	【サンマリブリッジ】 
平成 7 年 (1995 年)	・大阪営業所を大阪支店へ昇格 ・7 代目上坂和男社長就任 ・浜名湖競艇企業よりサンマリブリッジの設計監理で感謝状を受ける ・東京都港区芝浦の大規模な下水道再構築の設計業務を受注	
平成 8 年 (1996 年)	・東北支店開設 ・北関東自動車道栃木都賀ジャンクションの道路設計及び施工計画業務を受注 ・属性型 JPDメイン「kckk.co.jp」取得	
平成 9 年 (1997 年)	・本社移転「東京都豊島区南大塚 3 丁目 20 番 6 号」、OA 化に取り組む ・大阪支店で電線共同溝の計画と設計を手掛け始める ・八戸シーガルブリッジの設計で第 9 回八戸市まちの景観賞を受賞 ・建設 CALS/EC 公共調達コンソーシアムに参画し建設 CALS/EC 促進に携わる ・日本道路公団より新東名高速道路森掛川 IC の道路設計業務を受注 ・社章変更	【八戸シーガルブリッジ】 
平成 10 年 (1998 年)	・（社）日本港湾協会より八戸シーガルブリッジ架橋で日本港湾協会技術賞を受賞 ・8 代目森本誠治社長就任 ・日本道路公団より ETC 整備計画設計業務を受注、ITS の整備促進に携わる ・福岡支店を営業所へ降格、九州支店開設	
平成 11 年 (1999 年)	・高速埼玉大宮線（美女木 JCT ～与野）建設工事で全建賞を受賞 ・ISO9001 の認証取得	

年 度	当社の出来事	
平成 12 年 (2000 年)	・建設省より大関排水樋管詳細設計で優良業務表彰を受賞 ・道路アセットマネジメントに関する研究を開始	
平成 13 年 (2001 年)	・東京都より雨量データ利用・検索システム検討委託で感謝状を受ける ・低周波解析技術開発の成果が静岡県の道路橋低周波対策で実用化 ・建設 CALS/EC に基づく電子納品開始	【小貝川大関排水樋管】 
平成 14 年 (2002 年)	・九州支店廃止 ・国土交通省より圏央道（埼玉県境～利根川）道路予備設計 12K17 で優良業務表彰を受賞 ・舗装マネジメントシステム開発の成果が千葉県で実用化 ・建設 CALS/EC に基づく電子入札開始	【新潟県中越地震災害応急復旧】 
平成 15 年 (2003 年)	・インターネット VPN で WAN を構築し全社的なネットワークシステムを整備 ・中央環状王子線建設工事で全建賞を受賞 ・土壌汚染状況調査指定調査機関登録「環 2003-1-539」	
平成 16 年 (2004 年)	・会社を挙げて新潟県中越地震の応急復旧に対応	
平成 17 年 (2005 年)	・中部支店開設 ・大阪支店を関西支店に名称変更 ・国土交通省より慈観地区砂防施設設計業務で優良業務表彰を受賞	
平成 18 年 (2006 年)	・9 代目山下幹夫社長就任 ・国土交通省より大阪国道事務所管内騒音調査業務で業務表彰を受賞 ・株式会社虎ノ門コンサルタントより施工管理業務の事業譲渡を受ける ・社名を「開発虎ノ門コンサルタント株式会社」に変更	
平成 19 年 (2007 年)	・株式会社虎ノ門コンサルタントより調査設計業務の事業譲渡を受ける ・一般労働者派遣事業登録「般 13-302623」 ・電線共同溝業務管理システム設計業務を受注	
平成 20 年 (2008 年)	・橋梁マネジメントシステムに関する調査・設計・研究業務を拡大 ・長寿命化修繕計画関連業務を相次いで受注	【橋梁マネジメントシステム】 
平成 21 年 (2009 年)	・東北支店移転 ・中日本高速道路（株）より東名高速道路静岡沖地震災害応急復旧で感謝状を受ける ・舗装路面の IRI 測定車を開発し IRI 測定調査業務を受注 ・BCP に基づく「緊急時の個人行動基準」を制定	
平成 22 年 (2010 年)	・国土交通省より大和御所道路南六条地区橋梁架設計画業務で優良業務表彰を受賞 ・一級建築士事務所廃業	
平成 23 年 (2011 年)	・次世代法に基づく一般事業主行動計画策定 ・東京都より小名木川護岸設計（その 10）及びクローバー橋上流護岸整備基本設計で建設局優良請負工事等表彰を受賞 ・会社を挙げて東日本大震災の復興事業に対応 ・本社第二技術部・埼玉事務所移転、東日本圏域事業の拡大及び体制を強化	【舗装維持管理システム】 
平成 24 年 (2012 年)	・本社の主力生産グループを技術部として統合し生産性を強化 ・技術開発部を組織し新規事業の開拓と持続性のある新しい技術開発を推進 ・土壌汚染状況調査指定調査機関登録廃止 ・10 代目諸谷茂樹社長就任 ・3 月 1 日で創業 60 年創立 50 周年記念を迎える	【IRI 測定車】 
平成 25 年 (2013 年)	・社史「五十年の歩み」刊行 ・国土交通省中部地方整備局長より高山国道管内橋梁点検業務で業務表彰を受賞 ・埼玉県県土整備部長より地方特定道路（維持）整備工事（赤久良橋上部詳細設計業務委託）で業務表彰を受賞 ・社内の全基幹システムを消費税法改正に対応させる	
平成 26 年 (2014 年)	・東京オリンピック関連事業及び自然災害対策関連事業の業務受注が増加 ・東京都より旧江戸川（江戸川二丁目地区）築堤設計で建設局優良請負工事等表彰を受賞	
平成 27 年 (2015 年)	・計量証明事業廃止 ・関西支店移転 ・技術開発した DAK 式プレキャスト壁高欄が圏央道で採用される	【高山国道管内橋梁点検】 
平成 28 年 (2016 年)	・福島営業所開設 ・ストレスチェック制度基本方針を策定し、全社的にストレスチェック実施開始 ・DAK 式プレキャスト壁高欄設計の業務受注が増加	
平成 29 年 (2017 年)	・東京都より葛西橋長寿命化基本補足設計で建設局優良請負工事等表彰を受賞 ・開発虎ノ門コンサルタント技術フォーラムが第 30 回記念を迎える	
平成 30 年 (2018 年)	・働き方改革のため組織的対応を本格化 ・中日本高速道路（株）より東名高速道路（特定更新等）東京 IC ～厚木 IC 間施工管理業務をグローバルで受注	【DAK 式プレキャスト壁高欄】 
令和元年 (2019 年)	・会社を挙げて台風の災害復旧業務に対応、埼玉県より感謝状を受ける ・大阪府より一般国道 423 号桃山台擁壁補修設計委託で優良建設工事等表彰を受賞 ・中日本高速道路株式会社東京支社清水工事事務所より中部横断自動車道 南部工事区施工管理業務で表彰を受賞	
令和 2 年 (2020 年)	・11 代目白鳥愛介社長就任 ・会社を挙げて新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に取組む	
令和 3 年 (2021 年)	・「既設壁高欄の急速更新工法」の特許取得 ・業務日報・勤怠システム・社内コンピュータ制御システムの改良など社内 DX（デジタルトランスフォーメーション）の強化を図る	
令和 4 年 (2022 年)	・管理部を新設し配下にシステム課、DX 推進室、業務支援室を配置し、インフラ DX、社内 DX 化及び、業務効率化の推進を図る ・高速道路会社をはじめ BIM/CIM 活用業務の受注が増加する ・経済産業省推進の「健康経営優良法人 2023」を取得 ・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定 ・3 月 1 日で創業 70 年創立 60 周年記念を迎える	
令和 5 年 (2023 年)	・本社移転「東京都新宿区新小川町 6 番 29 号」、生産効率の向上とブランディングに取り組む ・建設コンサルタント事業に「建設環境」を再登録 ・社内基幹システムを消費税法改正の適格請求書等保存方式に対応、並びに電子帳簿保存法改正による電子取引データ保存義務化に対応し経費精算システムを導入	
令和 6 年 (2024 年)	・「創立 60 周年記念誌」発刊 ・東日本高速道路株式会社東京支社より首都圏中央連絡自動車道 牛久阿見地区舗装詳細設計で表彰を受賞 ・東京都より古川整備工事（四之橋～白金公園橋）に伴う護岸詳細修正設計で表彰を受賞	
令和 7 年 (2025 年)	・サイバー攻撃による脅威の高まりに対し、顧客情報と事業継続性を守るため、サイバー攻撃の対策を強化 ・デジタルトランスフォーメーションの一環として、生成 AI の利活用の取り組みを本格的に始動する ・ガバナンス強化のため安全衛生・就労環境など多面的な法令遵守並びに福利厚生に関する社内制度を強化	

会 社 概 要

■創立	昭和 38 年 3 月 1 日（昭和 28 年創業 社団法人日本開発技術協会で設立） 平成 19 年 2 月 1 日 開発コンサルタント株式会社から開発虎ノ門コンサルタント株式会社へ社名変更			
■資本金	40,000 千円			
■会社役員	執行役員社長	白 鳥 愛 介	執行役員	（営業統括部長代理兼本社営業部長兼 積算室長兼千葉事務所長兼船橋・茂原営業所長兼 中部支店長兼関西営業担当役員）花 岡 広 二
	専務執行役員（技術統括部長）	武 田 弘 次		
	常務執行役員（営業統括部長兼本社営業部長兼 東北支店長兼東北支店営業部長）	小 野 久	執行役員	（技術統括部副部長兼構造部門担当役員兼 新技術事業担当役員兼関西技術担当役員）西 本 英 生
	上席執行役員（技術統括部長代理兼建設管理部企業 品質管理部長兼企画・品質管理部長）	水 津 宏	執行役員	（営業統括部副部長兼本社営業部長兼 埼玉事務所長兼群馬・山梨エリア担当）池 谷 忠
	上席執行役員（管理統括部長兼総務部長兼管理部部長兼 総務課長兼人事課長兼業務支援室長）	萩 原 圭 一	特別技術顧問	埼玉大学名誉教授 睦 好 宏 史
			特別技術顧問	北海道科学大学工学部教授 亀 山 修 一
			特別技術顧問	千葉工業大学名誉教授 小 泉 俊 雄
			特別技術顧問	日本地震工学会名誉会員 後 藤 洋 三
■登録事業	○建設コンサルタント業	: 第 77 号	○地質調査業	: 第 303 号
	○測量業	: 第 595 号	○労働者派遣事業	: 派 13-302623
■役職員数	225 名、技術関係者 178 名（うち出向社員 29 名）R8.7.1 在籍者			
■有資格者	●工学博士	5 名	●RCCM	45 名
	●技術士	34 名	●測量士	24 名
	（総合技術監理部門 7 名）			
■ISO9001:2015 登録番号	ASR-Q1251 (JIS Q9001:2015)			
	●一級土木施工管理技士		50 名	

部門別業務の割合



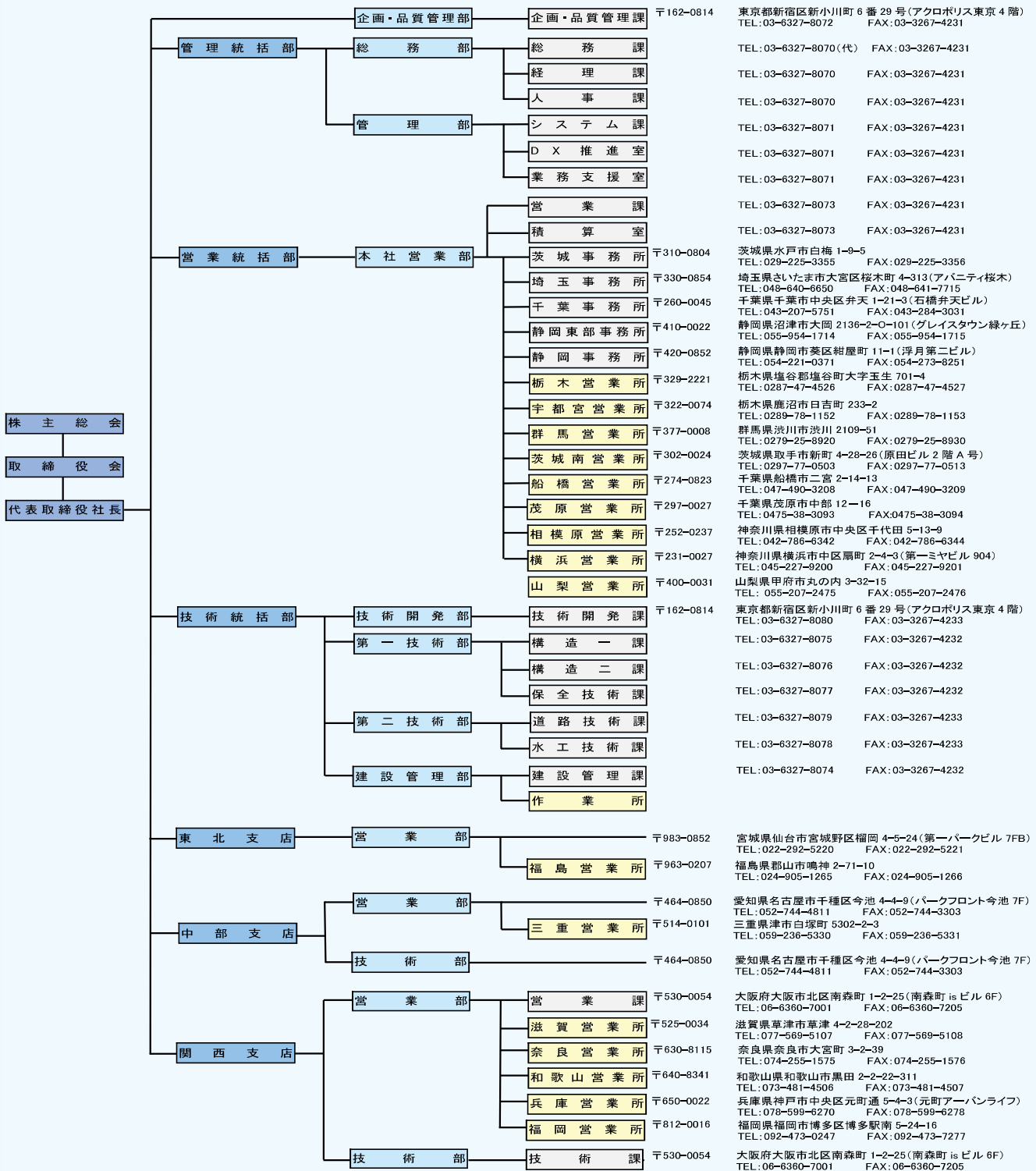
建設コンサルタント登録事業部門

- ◆鋼構造及びコンクリート
- ◆道路
- ◆河川、砂防及び海岸・海洋
- ◆施工計画、施工設備及び積算
- ◆土質及び基礎
- ◆建設環境
- ◆下水道
- ◆港湾及び空港

表 彰 等

●全建賞	新名神高速道路亀山 JCT～草津田上 IC 建設事業	平成 20 年 6 月
●全建賞	東名高速道路における駿河湾沖地震災害応急復旧事業	平成 22 年 6 月
●全建賞	北海道横断自動車道占冠 IC～トマム IC 間建設事業	平成 22 年 6 月
●全建賞	仙台北部道路建設事業（利府しらかし台インターチェンジ～富谷ジャンクション）	平成 22 年 6 月
●全建賞	信濃川下流河川災害復旧等関連緊急事業	平成 23 年 11 月
●全建賞	あぶくま高原道路（地域高規格道路福島空港・あぶくま南道路）整備事業	平成 24 年 6 月
●全建賞	名古屋環状 2 号線東部・東南部	平成 26 年 6 月
●全建賞	首都圏中央連絡自動車道 相模原愛川 IC～高尾山 IC 間の建設事業	平成 27 年 6 月
●全建賞	主要地方道千葉船橋海浜線谷津船橋インターチェンジ整備事業	平成 27 年 6 月
●全建賞	舞鶴若狹自動車道の建設事業	平成 27 年 6 月
●平成 4 年度	土木学会田中賞作品賞 青森ベイブリッジ（青森県）	平成 5 年 5 月
●平成 7 年度	土木学会東北支部総合技術賞 ハ戸ポートアイランド連絡橋（シーガルブリッジ）の施工	平成 8 年 5 月
●第 9 回	ハ戸市まちの景観賞 ハ戸シーガルブリッジ	平成 9 年 10 月
●平成 9 年度	日本港湾協会技術賞 ハ戸シーガルブリッジ架橋	平成 10 年 5 月
●平成 8 年度	プレストレストコンクリート技術協会作品賞（サンマリブリッジ＜複合斜長橋＞）	平成 9 年 5 月
●平成 20 年度	プレストレストコンクリート技術協会施工技術賞（新東名高速道路赤淵川橋）	平成 21 年 5 月
●平成 11 年度	優良業務表彰 大開排水樋管詳細設計（建設省関東地方建設局 下館工事事務所）	平成 12 年 7 月
●平成 13 年度	優良業務表彰 雨量データ利用・検索システム検討委託（東京都土木技術研究所）	平成 13 年 7 月
●平成 14 年度	優良業務表彰 圏央道（埼玉県境～利根川）道路予備設計 12K16（国土交通省関東地方整備局常総国道事務所）	平成 14 年 7 月
●平成 14 年度	優良業務表彰 管内落橋防止装置設計業務委託（国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所）	平成 14 年 7 月
●平成 16 年度	優良業務表彰 慈観地区砂防施設設計業務（国土交通省関東地方整備局日光砂防事務所）	平成 17 年 7 月
●平成 17 年度	優良業務表彰 平成 17 年度大阪国道事務所管内騒音調査業務（国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所）	平成 18 年 7 月
●平成 17 年度	感謝状 奈良橋川整備工事に伴う基本設計（東京都北多摩北部建設事務所）	平成 18 年 8 月
●平成 18 年度	業務表彰 第二東名高速道路清水西工区施工管理業務（その 1）（中日本高速道路株式会社横浜支社）	平成 19 年 4 月
●平成 21 年度	優良業務表彰 大和御所道路南六条地区橋梁架設計画業務（国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所）	平成 22 年 7 月
●平成 23 年度	優良請負工事表彰 小名木川護岸設計（その 10）及びクローバー橋上流護岸整備基本設計（東京都建設局）	平成 23 年 6 月
●平成 24 年度	業務表彰 平成 24 年度高山国道管内橋梁点検業務（国土交通省中部地方整備局）	平成 25 年 7 月
●平成 24 年度	優秀賞 地方特定道路（維持）整備工事（赤久良橋上部詳細設計業務委託）一般県道南飯能線 飯能市中藤上郷（埼玉県国土整備部）	平成 25 年 11 月
●平成 26 年度	優良請負工事表彰 旧江戸川（江戸川二丁目地区）築堤設計（東京都建設局）	平成 26 年 7 月
●平成 26 年度	優良工事等表彰 平成 25 年度 高山国道橋梁点検業務（国土交通省中部地方整備局高山国道事務所）	平成 26 年 7 月
●平成 26 年度	感謝状 小名木川護岸整備設計（その 8）補足設計（東京都江東治水事務所）	平成 26 年 8 月
●平成 27 年度	感謝状 隅田川（相生橋下流）左岸修景基本設計及び防潮堤根固設計（東京都江東治水事務所）	平成 27 年 8 月
●平成 27 年度	優秀賞 社会資本整備総合交付金（河川）工事（護岸詳細設計業務委託）507 一般河川和田吉野川 熊谷市平塚新田内外（埼玉県国土整備部）	平成 27 年 11 月
●平成 29 年度	優良工事等表彰 葛西橋長寿命化基本補足設計（東京都建設局）	平成 29 年 7 月
●令和元年度	優良建設工事等表彰（一般国道 423 号桃山台擁壁補修設計委託）（大阪府都市整備部）	令和 1 年 7 月
●令和元年度	表彰状 中部横断自動車道 南部工区施工管理業務（中日本高速道路株式会社東京支社清水工区事務所）	令和 1 年 11 月
●令和元年度	感謝状 東日本台風の被害における緊急対応業務（埼玉県東松山県土整備事務所）	令和 2 年 2 月
●令和 2 年度	業務表彰 新東名高速道路 敷地川橋幅設計業務（中日本高速道路株式会社東京支社）	令和 2 年 4 月
●令和 5 年度	感謝状 多数権利者を抱える未相統土地の地元自治会との連携による用地取得完了（東日本高速道路株式会社関東支社）	令和 5 年 10 月
●令和 5 年度	業務表彰 中部横断自動車道（県境～富沢）の残事業（残工事、事業損失補償、財産整理等）の早期概成（中日本高速道路株式会社東京支社）	令和 5 年 10 月
●令和 6 年度	優秀業務 首都圏中央連絡自動車道 牛久阿見地区舗装詳細設計（東日本高速道路株式会社関東支社）	令和 6 年 6 月
●令和 6 年度	業務表彰 古川整備工事（四之橋～白金公園橋）に伴う護岸詳細修正設計（第一建設事務所）	令和 6 年 12 月
●令和 7 年度	感謝状 関越道車両事故における人命保護及び重大事故防止（東日本高速道路株式会社新潟支社湯沢管理事務所）	令和 8 年 2 月

運用組織



会社ホームページ: <https://www.kckk.co.jp>

Facebook ページ: <https://www.facebook.com/kaihatsu.toranomon>

E-mail: info@kckk.co.jp

TECRIS 会社コード: 00000006

【品質方針】

当社の社員は個々の持ちうる能力を最大限に発揮・集約し社会基盤整備事業に貢献します。

- 信頼される技術で、良質なコンサルティングサービスを提供し、顧客満足度の向上を図る。
- この実現のため、以下の項目について、優先的に活動を行い、要求事項への適合及びマネジメントシステムの有効性の継続的な改善を図る。

【次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画】

- 計画期間 令和 8 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日
- 内容
 - 目標 1 計画期間における男性の育児休業取得率を 30%以上とする。
 - 目標 2 男性・女性ともに育児休業制度に基づく子の看護等休暇や育児目的休暇等の取得促進を実施する。
 - 目標 3 計画期間における各月全社員一人当たり平均の時間外・休日労働時間を 30 時間未満とする。
 - 目標 4 計画期間における全社員の年次有給休暇の新規付与日数の取得率を年間一人当たり平均 70%以上とする。

【女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画】

- 計画期間 令和 8 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日
- 内容
 - 目標 1 新卒・中途・年齢を問わず採用や登用を行い、女性正社員を現在の人数から 20%以上増員する。
 - 目標 2 計画期間における各月全社員一人当たり平均の時間外・休日労働時間を 30 時間未満とする。



2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小規模法人部門

KAIHATSU-TORANOMON CONSULTANT CO., LTD.